

(様式6-3)

研修等 報告書

令和2年2月14日

三田市議会議員 福田秀章 様

私は、研修等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	代表者	印
	議員名	小杉崇浩
参加者氏名	小杉崇浩	
講演会等研修名	地域福祉政策・地域包括ケアシステム特別研修	
研修事項	地域福祉政策の実践に向けて ～地方議員が今取り組むべき施策 実践編～	
日 時	令和2年2月8日(土) 10時～12時半	
場 所	メルパルク京都	
所 見	<p>講師は、公益社団法人かながわ福祉サービス振興会の理事長である瀬戸恒彦氏で、もともと神奈川県職員の経験があり、介護保険事業の立ち上げにも従事された方でした。前半は、地域包括ケアシステムの構築の仕方、実際に運営する上で大切にしなければならないことを、講師の経験を踏まえて教えていただきました。特に、PDCAサイクルと部署を超えた横の連携の重要性をおっしゃっており、行政職員に対してもそのような意識付けをすることが大切だということでした。後半は、厚労省の資料を用いて、全国各地の先進事例の説明がありました。全体を通して、行政に頼るのではなく、地域の主体性が大切であり、そのためには、地域に居住している人のことを良く知り、地域に眠っている社会資源を掘り起こすことが重要であると思いました。三田市においても、今後、住民主体の地域計画が作られていく中で、今回学んだ先進事例などを参考に、さらに安心して暮らせる地域づくりを目指していく必要があると思いました。</p> <p>(詳しい内容と所見は研修報告書別紙を参照)</p>	
添付資料	・ 当日配布資料 ・ パンフレット ・ 当日会場写真 ・ 研修報告書別紙	

6 添付書類 (講演会内容のパンフレット等)

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、参加者氏名は不要)

【研修報告書別紙】

「地域福祉政策の実践に向けて ～地方議員が今取り組むべき施策 実践編～」

日時：令和2年2月8日（土）10時～12時半

講師：瀬戸恒彦氏（公益社団法人かながわ福祉サービス振興会 理事長）

◎これからの地域課題は国や国会議員ではなく、地域で、地方議員、住民が解決していく

- ・良い人と良い人を繋げていくことが大切
孔子『論語』「己の欲せざる所は人に施す勿れ」
良い人…相手のことを考えられる人
悪い人…自分のことしか考えられない人
- ・人を見る目が大切

◎地域包括ケアシステム

- ・PDCAが大切→介護サービスを提供するプロセスもPDCA
- ・介護サービスの目的は自立支援であるはずだが、介護保険のこれまでを振り返ると介護サービスを使うほど介護度が上がる現象が起きている。平成30年度より、要介護度を改善した事業所に加算が付くようになった。特養でも、要介護4で入所した人が自立して退所した事例も出てきている。最先端の施設は、介護度を改善しているところである。市町村として介護予防に力を入れ始めている。本人の自立も目的だが、予算が限られているところも理由の一つ。

・地域包括ケアのPDCA

地域の課題を地域ケア会議で把握し、計画を立てる。その解決のための事業を実施する。そして、事業の結果を評価し、改善する。サイクルの期間は様々。あまり長い期間ではなく、短いサイクルで回すことが大切。せめて、地域ケア会議は年に4回はしてほしい。

◎取組み体制の構築のために

1. 首長の熱意 トップメッセージが大切

2. 所管課の連携と協力

横の連携を図ることができる体制（プロジェクトチーム）が求められる

企画、介護、福祉、医療、住宅、社会教育等との連携

重複している事業もあるかもしれない

それぞれの部署の人が地域包括ケアの概念を理解してもらい、考え方を共有する必要がある

3. 地域の介護・福祉事業者との連携

4. 地域医師会との連携

地域の医師会は地域包括ケアに非常に関心が高い。

若い医師の中には往診を熱心に行っている人も増えてきている。

5. 地元大学との連携

●連携のためには、誰と話をすることが大事。関心があり、柔軟な考え方ができる人と連携すべし。行政の時の経験として、行政内の横の連携が非常に難しかった。議員の質問によって、行政職員の意識を変革していくことも求められる。行政職員がもっと積極的に行動するようになれば、もっと地域は変わっていく。批判をしても固くなるだけなので、良いことをほめることも大切。

◎課題の把握

- ・役所は情報を持っている。役所の情報を開示させること。

◎地域ケア会議の開催

- ・生きた会議にする必要がある。

- ・形式的な内容に陥らないように。ここがしっかりしないと地域のアセスメントができない。

◎住民の積極的参加

1. 地域で活動する市民団体の育成

- ・地域の中には地域のために何かやりたい人が必ずいる。そういう人と繋がるべき。
- ・意識変化、行動の変化が自然と起こる状況を作る

2. 既存事業との連携

- ・市が行っている事業の把握、市民活動支援の内容を知ることが大切。

3. 大学や社会福祉協議会との連携

- ・社協には頑張っているところと停滞しているところがある。
- ・社協に力を発揮してもらうための働きかけも必要。
- ・社協の役割、立場を明確にしていくこと。

- 負のスパイラルに陥っている状況をプラスのサイクルに変化させることは議員の仕事。

◎地域支援事業

- ・介護保険の財源をもとに、地域の福祉を地域で考え、地域で実践する。

◎女性と高齢者の活用

- ・多様な主体による生活支援サービス
- ・女性、高齢者に活躍してもらいたい。→コミュニティカフェ、見守り、交流サロンなど
- ・大きな家で独居の高齢者に、地域の人たちに開放してもらい、交流の機会を作る。

◎高齢者が自立した生活を継続できる地域を目指す

◎地域包括ケア計画（行政計画）

◎行政の縦割りを排除して公民連携の仕組みを作る

- ・福祉政策、医療政策、住宅政策、地域振興の相互連携

◎活力ある地域づくりに向けて大切なこと

- ・歴史を大切にする。
- ・伝統や文化、地場産業を大切にする。
- ・地域の魅力を地域で共有する。
- ・地域を結び、人と人をつなげる。
- ・高齢者や女性、障がい者を活かす。
- ・共通する課題を協力して解決する。
- ・訪れた人に「おもてなし」をする。
- ・居場所と役割をつくる。
- ・未来への希望を持つ。

【後半】

◎実践事例から学ぶ

◎「老人」という名称に違和感

- ・横浜では、老人クラブを「ゆめクラブ」という名称にしている。

◎高知市、生駒市の事例

- ・地域の住民が主体的に実施することが重要
- ・住民の力を後押しするのが行政の仕事
- ・役所は小さいほうが良いし、市民も望んでいる。
- ・北欧のような75%が税金だが国が手厚く支援してくれるような社会システムは、日本国民

は選択していない。

◎利根町の事例

- ・ローカルな資格を作り、住民が指導者に。

◎葛飾区の実例

- ・公園に健康器具を設置した事例は、そこへ行くきっかけをいかに作るかが大切になってくる。

◎荒川区の実例

- ・オリジナル体操をたくさん開発し、関心を高めている

◎西東京市の事例

- ・フレイルチェックを元気高齢者から養成されたフレイルサポーターが実施

●施策の見える化と成果の見える化がカギ。

最新情報満載!!
地域福祉講座
完全リニューアル!!

地域福祉政策・ 地域包括ケアシステム 特別研修

講師 **瀬戸 恒彦** 公益社団法人
かながわ福祉サービス振興会 理事長

1956年生まれ。1979年神奈川県庁入庁。1993年から福祉部福祉政策課で高齢社会対策に関する各種調査、介護保険制度の立ち上げに従事。2001年(公社)神奈川県を退職し、(社)かながわ福祉サービス振興会事務局長に就任。2002年から専務理事を歴任し、2014年6月理事長に就任。現在、シルバーサービス振興連絡協議会会長、一般社団法人かながわ福祉居住推進機構理事長、一般社団法人日本ユニットケア推進センター理事、NPO法人神奈川県介護支援専門員協会監事、神奈川大学非常勤講師なども務める。

共著として、『評価が変える介護サービス』法研 2003、『介護経営白書』日本医療企画 2006、『居宅介護支援・介護予防支援給付管理業務マニュアル』中央法規 2007、『新・社会福祉士養成講座第11巻第7章』中央法規 2010、『業務改善ハンドブック第1巻～4巻、7巻』中央法規 2012、『基礎力を鍛えるコンプライアンス経営』日本医療企画 2014、などがある。



in東京

in京都

1/24(金) 2/7(金)

14:00～16:30

地域福祉政策の 立案に向けて

～地方議員が今取り組むべき課題
基礎編～

- ・介護給付と保険料の推移など
基礎知識のおさらい
- ・2040年を展望した社会保障改革の概要
- ・地域共生社会の実現に向けて
- ・我が事・丸ごとの地域づくりについて
- ・健康寿命の延伸についての課題と検討内容
- ・サルコペニア、フレイル予防について
- ・地域づくり戦略で大切なこと
- ・地域福祉計画の立案、実行、評価プロセス

in東京

in京都

1/25(土) 2/8(土)

10:00～12:30

地域福祉政策の 実践に向けて

～地方議員が今取り組むべき施策
実践編～

- ・地域包括ケアシステムの着実な推進
- ・生活支援サービスの充実と高齢者の社会参加
- ・高齢者が自立した生活を営める地域づくり
- ・地域包括支援センターの機能強化
- ・活力ある地域づくりに向けて大切なこと
- ・実践事例から学ぶ
～市町村レベル別の参考事例～
- ・神奈川での実践を一緒に学ぶ
- ・本気の地方議員の活力が地域を変える